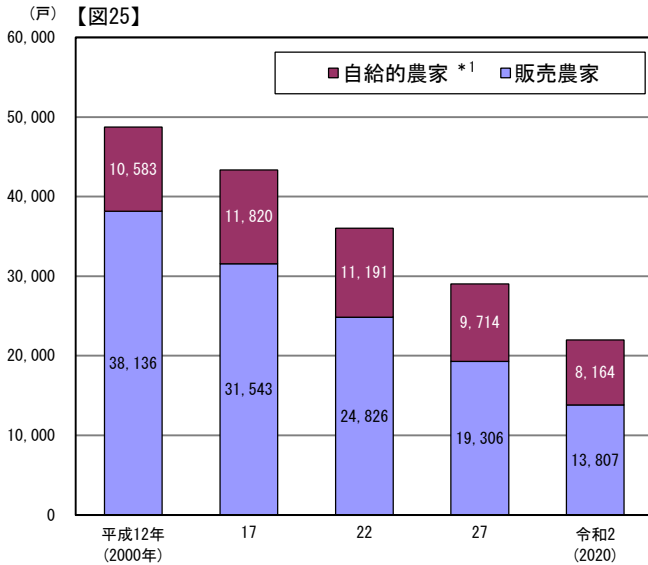


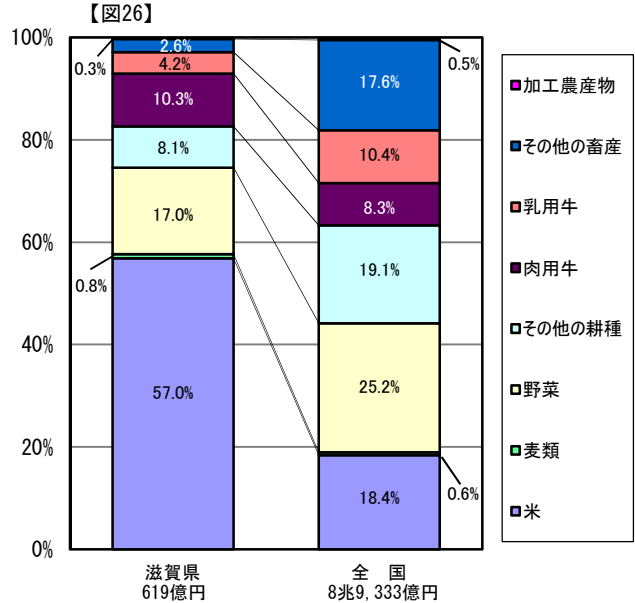
農林水産業

■ 農家数の推移



*1 経営耕地面積が30a未満かつ調査期日前1年間における農産物販売金額が50万円未満の農家
「農林業センサス」 農林水産省 (各年2月1日現在)

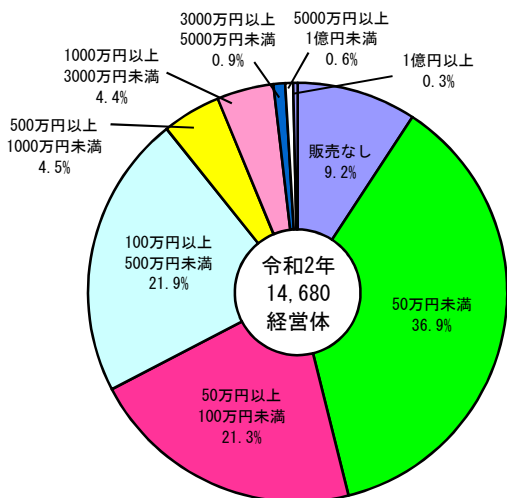
■ 農業産出額の品目別構成比



「生産農業所得統計」〈第1報〉 農林水産省 (令和2年)

■ 農産物販売金額規模別農業経営体数

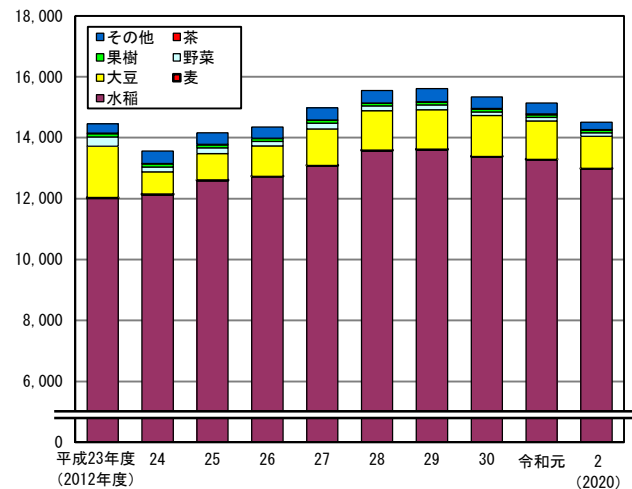
【図27】



「2020年農林業センサス」 農林水産省

■ 環境こだわり農産物

(ha) 【図28】 環境こだわり農産物*2の栽培面積の推移



*2 農業や化学肥料の使用量を通常の半分以下に減らし、環境への影響を小さくして生産した農産物

※1 「面積」とは、生産計画認定面積を指します。

県食のブランド推進課

くらしの数字

5年以内に農業を引き継ぐ後継者を確保している経営体の割合
28.6% (全国10位)

「2020年農林業センサス」 農林水産省

・令和2年2月1日現在の農家数は21,971戸で、5年前より7,049戸減少した。(図25)

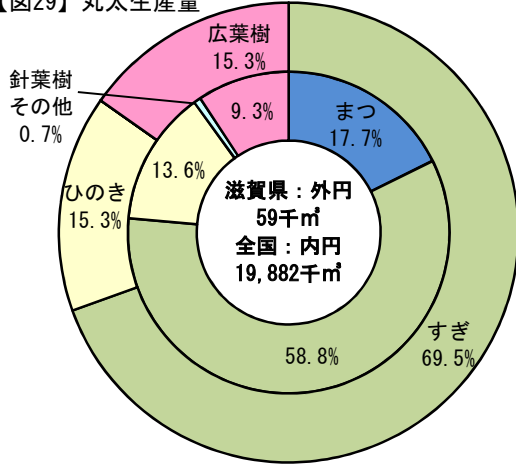
・令和2年の農業産出額は619億円で、このうち米の割合が57.0%を占めている。米の割合は、全国の約3倍である。(図26)

・農業経営体のうち、農産物販売金額が50万円未満(販売なしを含む)の経営体は全体の46.1%である。(図27)

・令和2年度の環境こだわり農産物の栽培面積は、14,507.0haであった。(図28)

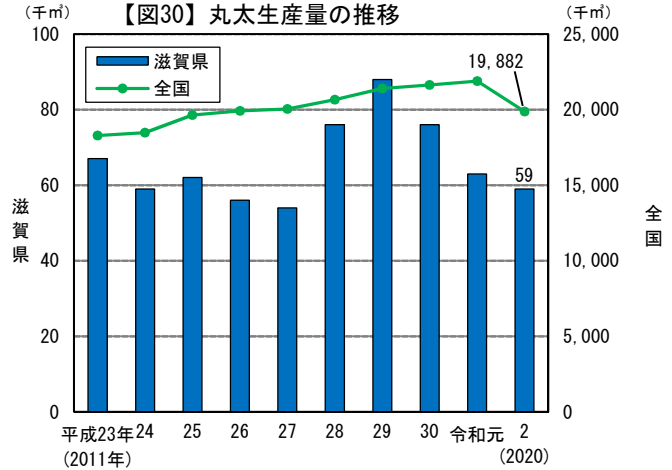
丸太生産量

【図29】丸太生産量



「木材統計調査」農林水産省（令和2年）

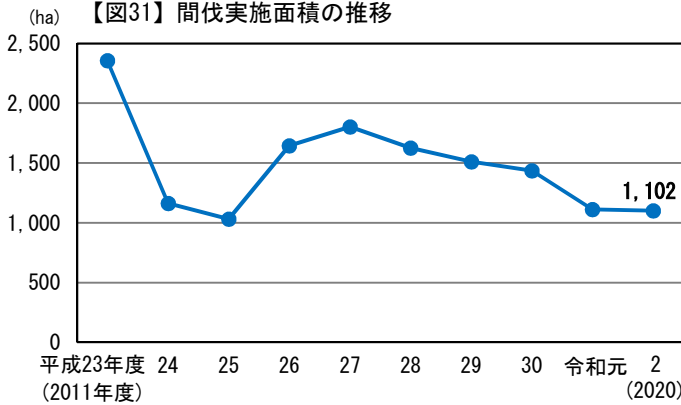
【図30】丸太生産量の推移



「木材統計調査」農林水産省

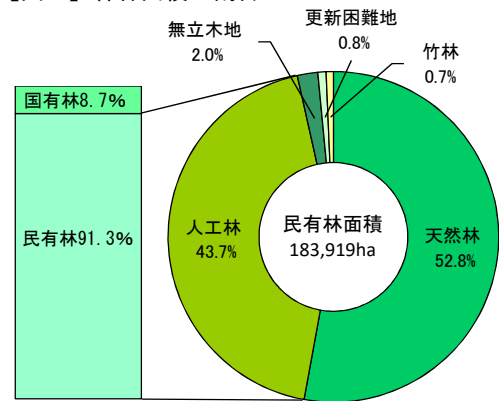
森林面積

【図31】間伐実施面積の推移



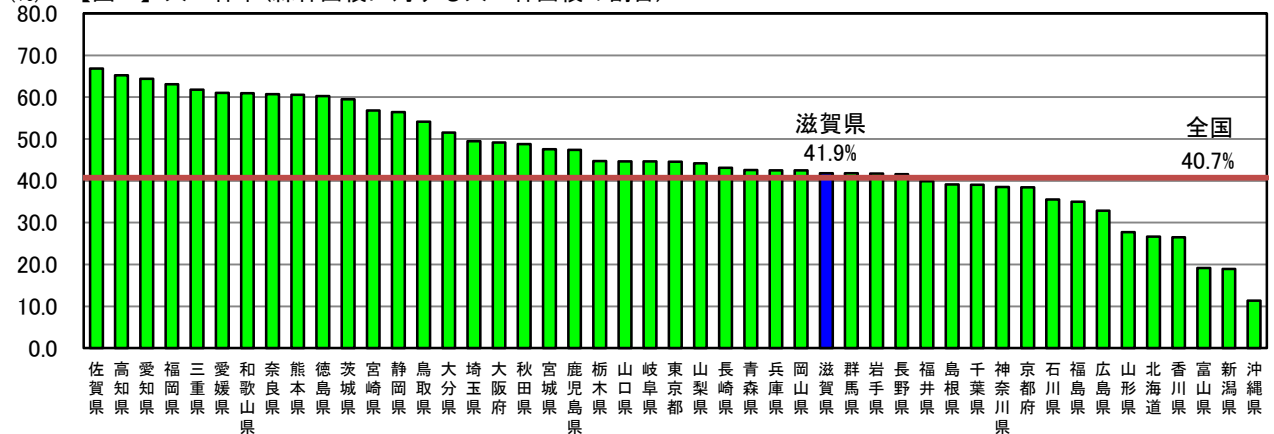
「滋賀県森林・林業統計要覧」県森林政策課

【図32】森林面積の割合



「滋賀県森林・林業統計要覧」県森林政策課（令和2年度）

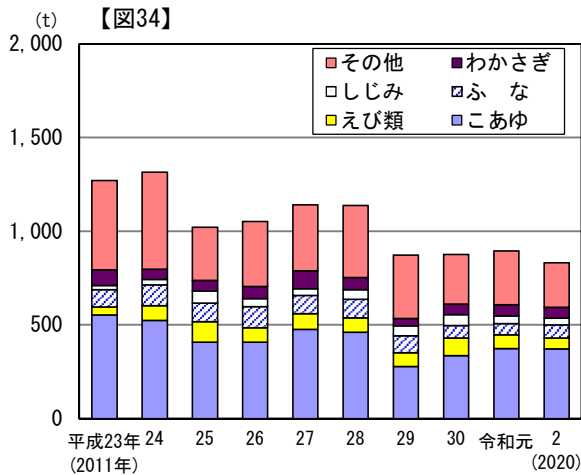
【図33】人工林率(森林面積に対する人工林面積の割合)



林野庁（平成29年3月31日現在）

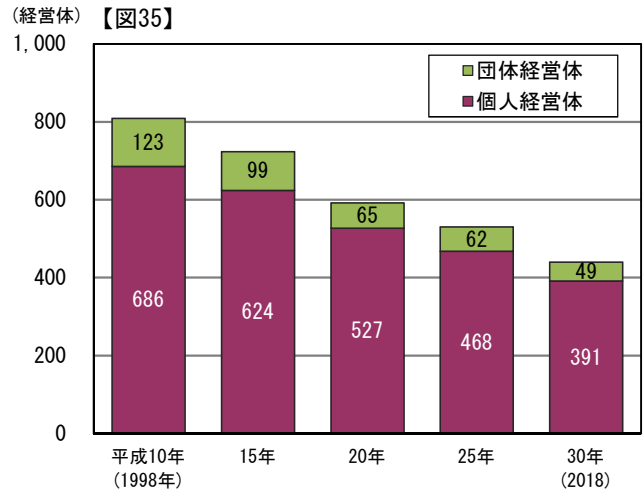
- ・丸太生産量のうち、すぎが69.5%を占めている。(図29)
- ・丸太生産量の推移をみると、3年連続で減少した。(図30)
- ・県内の森林のうち91.3%が民有林で、そのうち52.8%が天然林である。(図32)
- ・平成29年3月31日現在の人工林率(森林面積に対する人工林面積の割合)は41.9%で、全国30位である。(図33)

琵琶湖の漁獲量の推移（魚種別）



「内水面漁業生産統計調査」 農林水産省

琵琶湖の漁業経営体数の推移

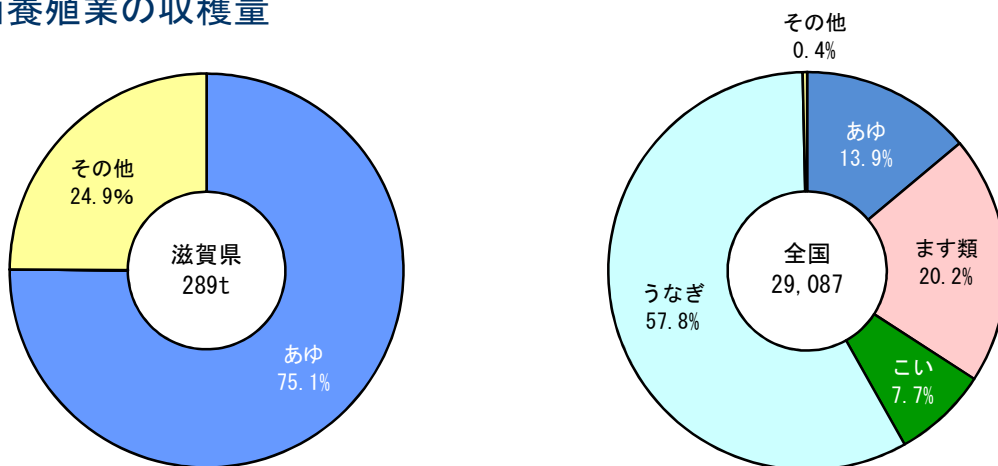


※2 団体経営体および年間湖上作業従事日数30日以上
の個人経営体に関する数値。

「漁業センサス」 農林水産省

内水面養殖業の収穫量

【図36】



※3 琵琶湖養殖を含む。

「内水面漁業生産統計調査」 農林水産省（令和2年）

くらしの数字

就業者1人当たり農業産出額（個人経営体）（令和元年度）
全国12位 649.5万円

土地生産性（耕地面積1ha当たり）（令和元年度）
全国44位 125.6万円

「統計でみる都道府県のすがた2022」 総務省統計局

・令和2年の琵琶湖での漁獲量は、833tで前年より7.0%減少した。
魚種別にみると、こあゆ373t(44.8%)、えび類57t(6.8%)、ふな70t(8.4%)、しじみ37t(4.4%)、わかさぎ58t(7.0%)などとなっている。(図34)

・平成30年の琵琶湖漁業経営体の総数は440で、このうち団体経営体が49、個人経営体は391となっており、9割近くを個人経営体が占めている。(図35)

・令和2年の滋賀県の内水面養殖業（琵琶湖養殖を含む）の収穫量は289tであった。収穫量のうち、あゆが217tで75.1%を占める。(図36)